

～2万1856点の中から最優秀賞2作品～ 「第16回創作漢字コンテスト」受賞作品発表

「100年後まで残る漢字を作つてみませんか」をテーマに募集した「第16回創作漢字コンテスト」(産経新聞社、立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所主催)には、2万1856点の作品が寄せられました。最高賞の「白川創作漢字最優秀賞」に、川崎市の藤本周司さん(55)の「くまにちゅうい」と、福岡市の畠中逞真さん(14)の「わんおペ」の2作品が選ばれました。

最優秀賞「くまにちゅうい」

川崎市 藤本周司さん 55歳 コメント

「山の食物不足のためか、クマによる痛ましい事件が多く、素直に形にしました。皆さまご注意ください。初応募で賞を頂き光栄です」



【読み】くまにちゅうい

最優秀賞「わんおペ」

福岡市 畠中逞真さん 14歳 コメント

「この度は、このような素晴らしい賞に選んでいただき、ありがとうございます。日々、家族のために一生懸命な「母」の姿を漢字一字で表しました」



【読み】わんおペ

※記載の年齢は、応募時点の年齢です。

対象別に社会人・大学生、高校生、小・中学生の3部門で審査を実施。入賞作は最優秀賞のほか、富国生命優秀賞(社会人・大学生対象)1点、Z会優秀賞(高校生対象)1点、同(小・中学生対象)3点、富国生命・審査委員長特別賞(全応募者対象)4点、成語・成句特別賞2点、計13点です。佳作、学校賞は該当なし。

【主催】産経新聞社、立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所

【特別協賛】富国生命保険

【お問い合わせ先】「創作漢字コンテスト」事務局 メール：sousaku-kanji@sankei.co.jp